

Ⅲ 社内外の評価及びご意見

1 環境アクションレポートの読者アンケート

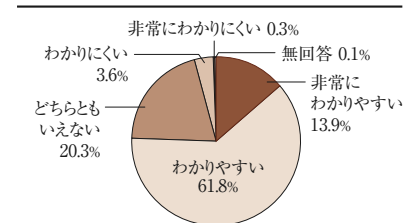
2010年6月に発行した「2010 九州電力環境アクションレポート」のアンケートを通じて、九州電力の環境活動のあり方などについて、1,120名の皆さまから貴重なご意見をいただきました(2011年3月末現在)。ご協力ありがとうございました。

九州電力の環境への取組みについて、ご関心を持たれた項目と、その理由やご意見 (n=1,120)

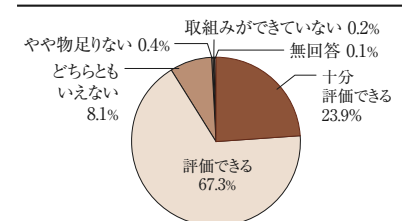
ご回答が多かった項目(上位5項目)	選択数	主な理由・ご意見
1 温室効果ガスの排出抑制	271	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化問題は、一生向き合う問題の1つであり、確実にCO₂が削減できていることを知って安心した。 再生可能エネルギーの推進状況が確認できた。お客さまへの省エネ推進活動にはもう少し力強く取り組んで欲しい。
2 大気汚染・水質汚濁・騒音などの防止	217	<ul style="list-style-type: none"> 発電所の近辺に住んでいる人々や環境に影響が出ないようにするのは当然の事。もの言わぬ動植物の生態系も守って欲しい。
3 オゾン層の保護	213	<ul style="list-style-type: none"> 一時期、オゾン層を破壊するフロンが騒がれていたが、回収の徹底などの努力により、2000年度以降フロンの排出量が無くなってきて良かったと思う。
4 原子力関連情報	153	<ul style="list-style-type: none"> 原子力は、必要とは言われつつも、危険と隣りあわせで怖いものだと思うので情報公開は大切だと思う。 原子力は、風力、火力などの発電に比べるとやはり安全性が気になる。発電所近くにお住まいの方への十分な配慮をお願いしたい。
5 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開	150	<ul style="list-style-type: none"> 今の子供たちにとって電気は当たり前のものなので、電気の大切さ、環境を守ることの大切さを学ばせることは重要である。

(注) 複数の項目を選択可能(最も関心あり1つ、その他関心あり4つ)なため、最も関心ありの選択数に1.5ポイント、その他関心ありの選択数に1ポイントを乗じて順位付け。

レポートのわかりやすさ (n=1,120)



当社の環境への取組みに対する評価 (n=1,120)



2 九州電力環境顧問会

2011年11月2日に「第11回 九州電力環境顧問会」を開催し、九州電力グループの環境への取組みや「2011九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

環境顧問会での主なご意見とその対応方針についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員 (50音順 敬称略)



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学 法学部 教授
中央環境審議会委員



おつか まさお
大塚 政雄
環境省 環境カウンセラー
(市民部門)



かど ひさよし
門 久義
鹿児島大学 大学院
理工学研究科 教授



つづい やすひこ
筒井 泰彦
エッセイスト



つるた さとし
鶴田 暁
九州地域環境・リサイクル産業
交流プラザ 会長



ながた
詠田 トキ子
NPO法人
みやざきエコの会 理事長



にしだ しんいち
西田 進一
西田鉄工株式会社
代表取締役社長



のむら みきお
野村 美紀生
株式会社テレビ西日本
常務取締役



ふじもと とはる
藤本 登
長崎大学 教育学部
教授



会議風景

※: 鶴田委員は都合によりご欠席されたため、別途ご意見をいただきました(顔写真には昨年度のものを使用)。

ご意見の概要	ご意見への対応方針
<p>【環境活動への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州電力を取り巻く環境は厳しい状況にあるものの、環境活動への取組みはこれまでどおり継続してほしい。 PDCAをしっかりとまわしていただき、特に環境目標未達項目については、徹底した分析・対策を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、CSR(企業の社会的責任)への取組みの一環として、九州電力グループ一体となって環境経営を着実に推進し、低炭素をはじめとする持続可能な社会の構築に貢献していきます。また、EMS(環境マネジメントシステム)の的確な運用により、環境目標の達成と環境負荷の継続的な低減に引き続き努めていきます。
<p>【安定供給と環境側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力停止に伴う代替電源を火力で賄うことで、CO₂だけでなく、SO_x・NO_x等の環境負荷も増加することや、再生可能エネルギーには出力変動などの課題があることを、電力会社としてしっかり社会に説明すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、環境アクションレポートや講演会など、あらゆるツール・機会を通じて、親切・丁寧な説明を行い、エネルギー・環境問題に対するお客さまの理解促進に努めていきます。
<p>【原子力の情報公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力の安全対策に対する信頼・理解を得るためには、これまで以上に積極的な情報公開が不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> 原子力については、今後とも、安全確保に万全を期すとともに、ホームページ等を通じて、迅速・的確な情報発信を行い、お客さまや地域社会の皆さまからの信頼・ご理解を得られるよう努めていきます。
<p>【節電への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬季の節電については、夏季とは異なり夜間の取組みも重要となることから、願いの仕方に工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等で冬季需要の特徴を説明するほか、具体的取組み例を提示するなど、わかりやすい説明に努めるとともに、今後とも、電力の安定供給に最大限努力していきます。
<p>【再生可能エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーについては、社外とも連携するなど、引き続き積極的な普及拡大に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国産エネルギーの有効活用及び地球温暖化対策の観点から、今後とも、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めていきます。 なお、風力・太陽光については、自社開発や電力購入を通じて、2020年度までに設備量であわせて250万kWの導入を目指します。
<p>【木質バイオマス混焼実証事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 峇北^{ねいはく}発電所での木質バイオマス混焼発電実証事業は、単にCO₂削減だけでなく、森林保護や生物多様性の保全にも資するものであり、もっとPRしてもよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスに限らず、再生可能エネルギーの利用状況については、今後とも積極的にPRしていきたいと考えています。
<p>【エネルギー・環境教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> エコ・マザー活動は、次世代層はもとより、その保護者に対する環境意識啓発にも繋がる素晴らしい取組みであり、今後も積極的に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> エコ・マザー活動については、活動内容の充実等を図りつつ、今後とも、九州の各地で年間300回程度開催していきたいと考えています。
<p>【環境アクションレポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境アクションレポートは、情報がコンパクトに整理され、年々良くなってきている印象。 環境情報は多岐にわたるため、WEB活用や冊子内での関連情報への誘導など、引き続き、情報の検索性向上に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、積極的な情報公開に努めていくとともに、読みやすさ・わかりやすさに配慮しながら、記載内容の充実にも努めていきます。

3 社員の環境意識

九州電力では、事業所の環境活動推進責任者である環境管理責任者を対象とした会議や、各事業所のEMS事務局等を集めた研修会を本店（地域共生本部）主催により実施し、情報の共有化や意見交換を行うことで、社員の環境活動に対する意識やニーズなどを把握・分析し、環境アクションプランの策定に反映させています。

環境管理責任者会議での意見交換

主な意見と対応
 (環境管理責任者：環境、地域共生本部（環境担当）：環境)

- 環境**：当社オフィスにおける照明器具の高効率化について、LEDは導入しないのか。
- 環境**：LEDはコスト面での課題もあることから、技術開発動向等を踏まえながら、今後検討していきたい。
- 環境**：事業所における省エネ施策の参考とするため、BEMS（ビル・エネルギー管理システム：P24参照）を導入している事業所の分析結果を情報提供してほしい。
- 環境**：今後、BEMSを導入していない事業所にもBEMSデータの分析結果を提供し、水平展開をしていく。

EMS 専門研修 (P35参照) での意見交換

主な意見と対応
 (事業所のEMS事務局：EMS、地域共生本部（環境担当）：環境)

- EMS**：EMSの目標（資源の節約等）については、これまでの取組みが定着してきているため、今後、目標を設定する上では、どのように考えていけばいいのか。
- 環境**：資源の節約等に限定するのではなく、現在の業務の中で環境負荷の低減に寄与できるものがないかといった視点でも考えてもらいたい。
- EMS**：所員の環境意識高揚を図るため、事業所におけるEMS教育を実施しているが、その他に所員の環境意識高揚を図る手段はないか。
- 環境**：環境問題や環境業務に関する社員の意識高揚を図ることを目的として、事業所に対して地域共生本部（環境担当）からの支援（環境講演等）も実施しているので、活用して欲しい。

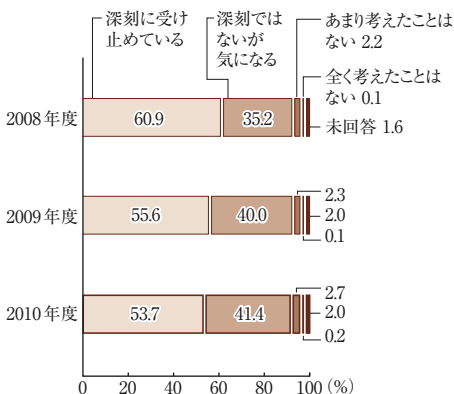
4 お母さま方の環境意識

エコ・マザー活動（P34参照）に参加したお子さまの保護者の方々を対象にアンケートを実施しており、いただいた貴重なご意見等については、エコ・マザー活動をはじめ、当社の環境活動を充実していく際の参考とさせていただきます。

(配布数：24,001、回答数：9,284 [回答率：38.6%])

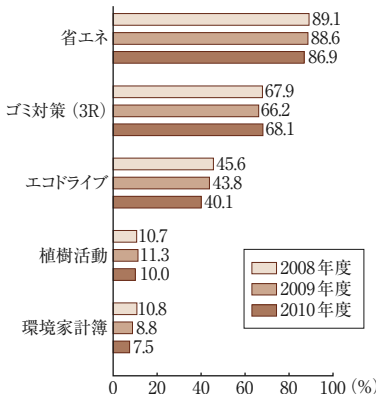
地球環境問題

Q1：地球環境問題について
 Q1：どのようにお考えですか



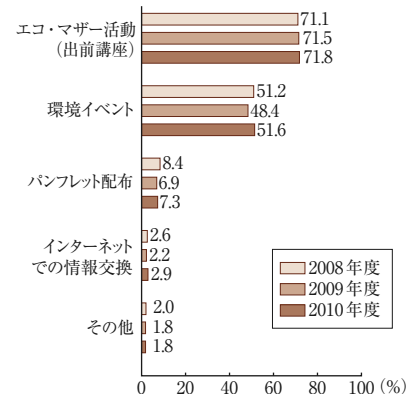
環境への取組み

Q2：ご家庭でやってみようと思う
 Q2：取組みはありますか



環境教育

Q3：お子さまの環境教育充実のためには、
 Q3：どのような活動が効果的だと思いますか



アンケート結果と活動への反映

アンケート結果	エコ・マザー活動への反映
<ul style="list-style-type: none"> 多くの方が地球環境問題に関心があり、「省エネ」や「ゴミ対策」など、ご家庭でできる環境への取組みに高い意欲をもたれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動報告会「エコ・マザーの集い」を通じたエコ・マザーの知識向上や配布冊子類の更新などにより、家庭でできる環境への取組情報の充実化を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> 回答いただいたほとんどのの方が、エコ・マザー活動はお子さまの環境教育充実のために効果的であると評価。 	<ul style="list-style-type: none"> エコ・マザー活動をより多くの地域の保育園などで実施できるよう、2011年度より活動範囲を順次拡大していくこととしました。

5 環境に関するお問い合わせ等への対応

環境に関する主なお問い合わせ内容と対応（2010年度）

項目	件数	主な内容	対応の概要
意見 要望	7	環境に関するパンフレット類の送付希望	「九州電力環境アクションレポート」や小冊子「快適で環境にやさしい毎日のために」など、当社作成の環境に関するパンフレット類をご送付。
質問 他	11	当社の販売電力量あたりのCO ₂ 排出量について	算出方法及び当社の販売電力量あたりのCO ₂ 排出量実績についてご回答。
		使用済み ^{がいし} の処理状況について	「使用済み ^{がいし} 」は、産業廃棄物における区分「ガラス・陶磁器くず」に分類（約6割が「使用済み ^{がいし} 」に相当）されていること、及びその処理状況（発生量、リサイクル量等）についてご回答。
計	18	—	—

6 社外評価

評価名	主催者	実施時期	九州電力の評価
第14回「企業の環境経営度」調査	日本経済新聞社	2010年9～11月	6位 / 15社（電力・ガス部門）

7 社外表彰

表彰名	対象*	実施団体	受賞年月
平成22年度宮崎県地域環境保全功労者等表彰	宮崎支店	宮崎県（宮崎県環境科学協会）	2010年10月
九州ふるさとの森づくりに対する感謝状	熊本支店	美里町（熊本県下益城郡）	2010年10月
第2回みんなの森づくり市民植樹祭感謝状	大分支店	大分市	2010年11月
功労者表彰（岡城跡石垣清掃ボランティア活動）	大分支店 三重営業所	竹田市・竹田市教育委員会	2010年11月
エネルギー管理功績者表彰	九州経済産業局長表彰	八丁原発電所員	九州地方電力効率率化協議会
エネルギー管理優秀技能者	(財)省エネルギーセンター 九州支部長表彰	大分・相浦・川内・新大分発電所員	(財)省エネルギーセンター
エネルギー管理功労者	(財)省エネルギーセンター 九州支部長表彰	新杵岐・飯島第一・苅田・松浦発電所員	
五島市内信号機清掃に対する感謝状	長崎支店 五島営業所	五島警察署	2011年2月
九州の森林・林業の活性化と地球温暖化防止への貢献に対する感謝状	九州電力	九州森林管理局	2011年2月
「響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業」推進に対する感謝状	北九州支店	北九州市	2011年3月
第40回日本産業技術大賞 審査委員会特別賞	九州電力 （「電気自動車用普通充電コンセント「EVコンセント」」）	日刊工業新聞社	2011年4月

※：受賞時の組織名を記載。

九州森林管理局から感謝状を授与されました

2011年2月16日、当社は、九州の森林・林業の活性化と地球温暖化防止への貢献を評価され、九州森林管理局から感謝状を授与されました。この感謝状授与は、九州森林管理局が、森林づくりや国産材の利用推進・開発などに功績があった団体などを対象に、その成果を讃えると共に広く一般に知らせることを目的に行っているものです。

[功績の概要]

- 九州産の間伐材を使用したコピー用紙をプライベートブランドとしてグループ会社の九州環境マネジメント(株)が商品化し、九州電力グループ全体で積極的に利用
- 2001年度から九州各地で「九州ふるさとの森づくり」の植樹活動を展開し、地域住民と一緒に植樹活動を行うことで、森林に対する意識啓発等に貢献
- 峇北発電所において木質バイオマス混焼発電実証試験を実施し、未利用森林資源の利用拡大、及びCO₂排出削減に寄与



感謝状

贈呈式の様子